

研修タイトル	仕事の段取り力養成講座 ～プロジェクト型業務の遂行能力を身につけるために～				
研修実施概要	プロジェクト型業務での段取りの流れと考慮すべき視点を解説します。 演習ケースは社内イベントプロジェクトを題材にしているので、 ITエンジニア以外のスタッフ部門や営業部門の方等もご受講頂けます。				
研修コード	H020	実施期間	2018年 9月25日 ～ 9月26日 2（日間）		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自身のビジネスの特徴・問題点を明らかにする。 ・プロジェクト型業務で考慮すべき視点(スコープ、タイム、コスト、品質、要員、協力会社、コミュニケーション、リスク)を理解する。 ・プロジェクト型業務の流れである、立ち上げ、計画、実行・コントロール、終結の各段階において、どのようなことを段取り(計画)し、作業を進めていかなければならないのかを理解する。 				
受講料(税抜)	¥50,000	時 間 帯	9:30 ～ 16:30 (休憩1時間含む)	定 員	10名
前提知識	業務での段取り力を強化したい方			ジャンル	段取り力
実施内容	1.ビジネス環境を理解する 2.仕事をうまく進めるためには 3.PMBOK概要 4.仕事のPDCAサイクルと心構え 5.業務の立ち上げ ※グループ演習1(業務の立ち上げ) 6.業務計画		業務計画の全体像、作業の洗い出し、PJ体制の決定と役割分担、所要期間・コスト見積もり、スケジュール作成、リスクの洗い出しと対策立案、計画のまとめと共有化 ※グループ演習(PJ計画) 7.業務の実行とコントロール PJ管理の鉄則、進捗遅れの対策、朝会・見える化のススメ、利害対立が生じたときは 8.業務の終結 プロジェクト完了報告、ふりかえりのススメ		
会 場	宮崎県ソフトウェアセンター 佐土原本社（宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂字長谷水16550番地2）				

研修タイトル	"ショートケースメソッド"による ITプロジェクトの「炎上」リスク予防・予知トレーニング				
研修実施概要	現場のプロジェクトリーダーは、企業や開発プロジェクトを成功に導くにあたり、リスクに気づきながらも手を打てないことに頭を悩ませています。そこで、複数の短い状況(ショートケースメソッド)を通して、具体的なシーンごとに「そのときどうする」を考え、実務で使えるスキル習得を目指します。 現場での「炎上」寸前のプロジェクト疑似経験から、そのまま現場での「知恵」として活用できる能力を高めるコースです。				
研修コード	H021	実施期間	2018年 8月8日 ～ 8月9日 2（日間）		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートケースの分析を通じて、リスクの予知、リスクのアンテナを張って、未然にそのリスクをキャッチして手を打つスキルが習得できる ・リスク、「炎上」寸前のリスクの状況や要因を的確にとらえ、適切に「打ち手」を考慮するスキル、その打ち手が実現可能であることをレビューするスキルを習得できる 				
受講料(税抜)	¥50,000	時 間 帯	9:30 ～ 16:30 (休憩1時間含む)	定 員	12名
前提知識	プロジェクトマネジメントの基礎知識があること 開発プロジェクトの経験3年以上あることが望ましい			ジャンル	リスク管理
実施内容	◎オリエンテーション ・ITプロジェクトの動向 ・プロジェクトにおけるリスクとは ・リスクマネジメントとは(全体像) ・リスクと問題の関係 ・問題が「炎上」するのはなぜ? <実践:ショートケースメソッド① >		・リスクドライバーの洗い出しと分析・評価 ・炎上を起こすステークホルダの分析 ・「打ち手」のレビューポイント ～しこりを残さないために <実践:ショートケースメソッド② > ◎まとめ		
会 場	宮崎県ソフトウェアセンター 佐土原本社（宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂字長谷水16550番地2）				